

陽だまり (紙芝居サークル) が出演

一昨年の推計人口によると、日本の人口の4人に1人が65歳以上の高齢者となっています。

広島市においては、高齢者を「支えられる存在」だけでなく「社会を支える存在」としても捉え、老人クラブはこれまでの活動経験を活かして、自らの健康寿命を延ばし、同世代同士の見守りや生活支援による支え合いを通じ、高齢者の直面する課題に対応した活動に積極的に取り組んで行く活動方針を持って、この広島市老人福祉大会が開催されました。

この大会では、市長の祝辞や記念講演で山本コウタロー氏のトーク・ライブがあり、その後には市内の各区から芸能発表がありました。

安佐南区の代表は、シニアクラブびしゃもん会のサークル「陽だまり」が「鳴るの茶釜」と題して、紙芝居の演出がありました。

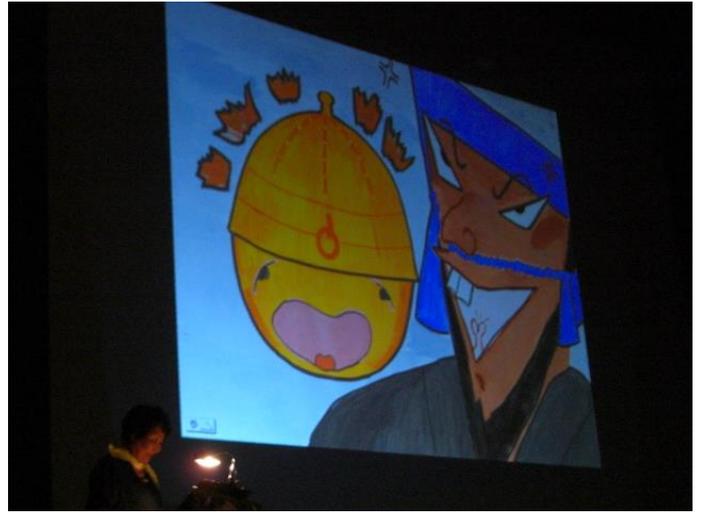


会場は広くて2000人近い観衆なので、プロジェクタを使って大きなスクリーンに写されました。

宇佐美さんの臨場感たっぷりの演出に、観衆は楽しみ感嘆しました。パワーポイントで紙芝居をスライド操作した近藤さんとも誠に息が合っていました。

このようにシニアクラブは、仲間づくりを基本に、生きがいづくり、健康づくり、地域づくり を目指す幅広い活動を実践されて行かれる事が良く解りました。





(HP委員 小田)